

再エネ技塾 in ふくしま

再エネ由来電力の貯蔵～有効活用を狙う「水素プロジェクト」の事業性を比較検証する

受講者募集

太陽光発電、風力発電など再生可能エネルギーの大量普及に伴い必然的に発生する系統連系問題に対処するために、今、規模の大小を問わず、電力貯蔵～有効利用システムの実証研究が盛んに行われています。特に、新型の蓄電池システムや水素エネルギーは関心の高いテーマですが、その事業性についてはほとんど触れられていないのが現状です。そこで、この講座では蓄電池方式と水素方式を比較しつつ、いくつかのモデルケースを想定し、現時点で考え得る事業性について定量的かつ経営的に検証を行います。

再生可能エネルギー分野での起業をお考えの方、自社で再生可能エネルギー関連をご担当されている方、自治体・NPO等で再生可能エネルギーに携わっている皆様のお申込をお待ちしています。

開催場所：福島大学 共生システム理工学類後援募金記念棟
(福島市金谷川1番地)

開催日時：10月17日(月)、21日(金)、24日(月)の3回
3日間ともに13時～17時

参加費：**無料** (全ての講義を無料で受講できます)

開催内容：再エネ大量普及と系統電力の調整
電力貯蔵蓄電池の開発状況と相互比較・経済性比較
蓄電池、電解水素の事業性検証と課題
電解水素のメタン化の意義と実用性
電力貯蔵、復元利用システムの中期展望

募集定員：先着30名 (定員になり次第締め切りさせていただきます。)

受講料
無料

募集締切：10月10日(金)

ただし定員に達した場合は募集期間中でも締め切らせて頂く場合がございます。

あらかじめご了承下さいますようお願いいたします。

再エネ技塾HPまたは裏面の申込用紙にてお申し込みください。

再エネ技塾

検索

<http://www.sss.fukushima-u.ac.jp/saiene/>

申し込み・問い合わせ先

福島大学共生システム理工学類

再生可能エネルギー人材育成プログラム事務局

担当：長谷川

TEL 024-504-2029 FAX 024-503-4970

e-mail : saiene@sss.fukushima-u.ac.jp

主催 国立大学法人 福島大学 (地域イノベーション戦略支援プログラム)

「再エネ技塾 in ふくしま」プログラム案内兼受講申込書

申込はHPまたはFAXから 申込締切 **10月10日(金) 17時** 先着順とさせていただきます、お早めにお申込ください。

「再エネ技塾」HP (<http://www.sss.fukushima-u.ac.jp/saiene/>)

インターネットを利用されない方は、科目の受講希望欄に全てにO印をご記入の上、FAXにて送信ください
(FAX024-503-4970)

※3日間(3回)の受講が前提となります。

実施日	講義時間	講義内容	受講希望
10/17 (月)	13:00~13:10	開講式(12:30から受付を開始します。)	
	13:10~17:00	イントロダクション:「福島新エネルギー社会構想」 実現を具体例でイメージする (福島大学客員教授 高仲日出男)	
10/21 (金)	13:00~17:00	蓄電池システムをモデルケースとして (福島大学客員教授 高仲日出男)	
10/24 (月)	13:00~17:00	水素をモデルケースとして (福島大学客員教授 高仲日出男)	

※受講希望者は下記に開催される講義を事前に受講することが望ましい。

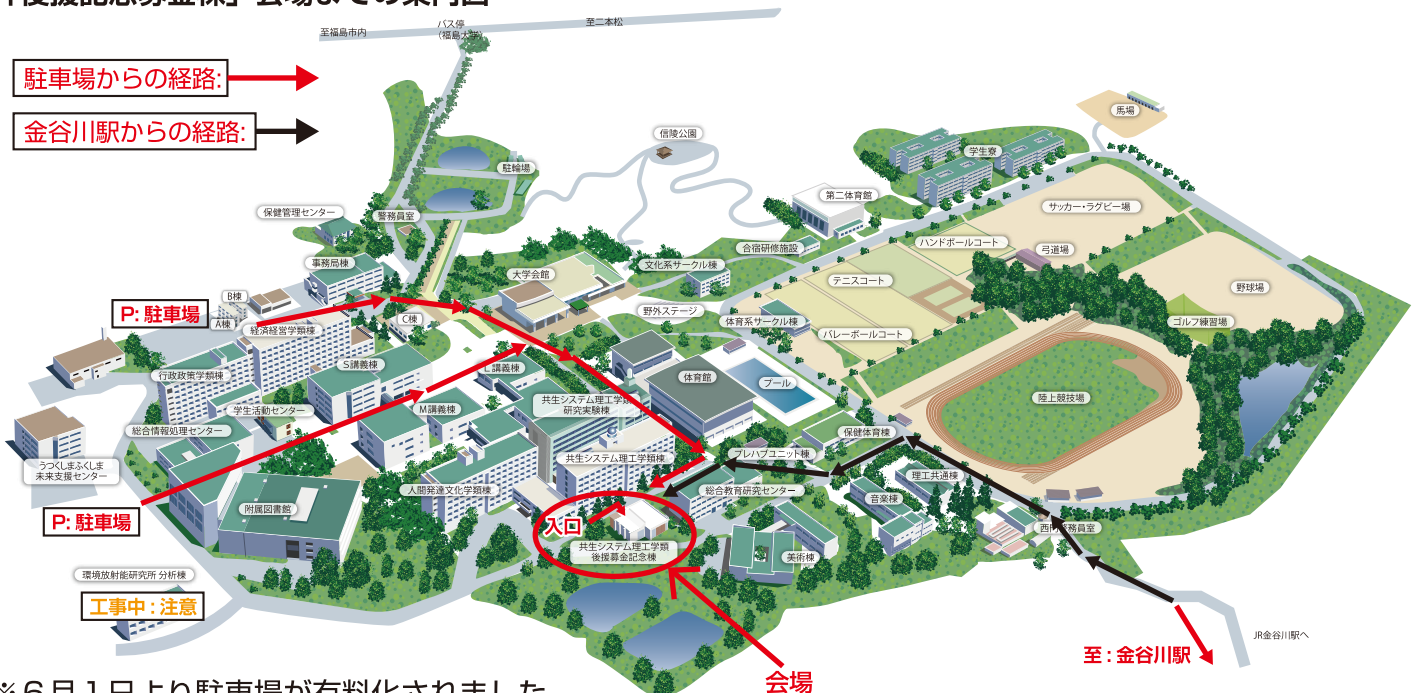
「再生可能エネルギー高度技術者養成講座」(郡山開催) 9月24日PMと27日AM・PMの3回
申込にあたって必須ではありませんが前提となる要素が多いため受講することをお勧めいたします。

FAXにてお申込の方は上記の受講希望欄と下記ご記入の上送信ください (FAX 024-503-4970)

会社・団体名、所属		Tel.	
氏名(ふりがな)	性別 男・女	Mail-address	
住所			

ご記入頂きました情報につきましては、適切に管理し再エネ技塾事業のみに利用いたします。

「後援記念募金棟」会場までの案内図



※6月1日より駐車場が有料化されました。

車でお出での方は**入口ゲート**で**駐車券**をお取りください。

構内の駐車スペースは指定されておりませんので**空いている白線内**にお停め下さい。

受講者は無料化の対応をいたしますので、忘れずに**駐車券**をお持ち下さい。

お帰り際は必ず出口の左側ゲートをお通り下さい。右側は学内者専用ですのでご注意ください。